

川崎陸送

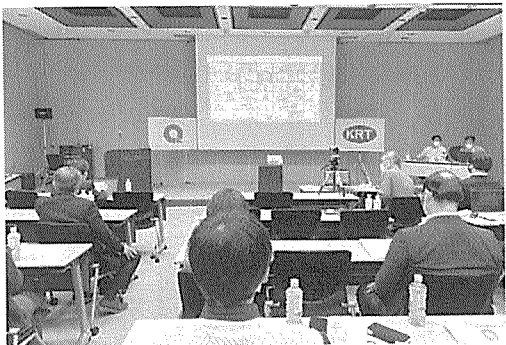
「QCサークル代表発表大会」開催

「MIXジュース」が2連覇

川崎陸送(KRT、本社・東京都港区、樋口恵一社長)は6日、「第55回KRT QCサークル代表発表大会」を東京都内の会場とオンラインを併用して開催し、123人が参加した。

予選を通過した11サークルが取り組みを発表し、第1位にあたる優秀賞には、京都営業所のサークル「MIXジュース」が選ばれ、6月に続いて2連覇となった。

10月23日の予選会は前回と同



会場とオンラインを併用して開催

様、「Google Meet」を使用してバーチャル4会場に分かれて実施。リモートならではの組み合わせの自由度を最大限に活用し、参加39サークルのチームを効率化・ミス防止、効率化、事故防止・燃費などカテゴリーに分類し、他のサークルが似たテーマにどのような切り口で取り組んだかを比べやすいようにした。

6日の決勝戦には、乗務職、現業職、流通加工、事務職など



樋口社長(左)が「MIXジュース」を表彰

様々な職種で構成される11サークルが参加。燃費の向上や巻き取り紙の積み下ろしマニュアルの作成、入庫業務の時間短縮、検品作業時間の削減、輸送事故の削減、作業の生産性向上、事務所の業務分担の見直しといった取り組みを披露した。

優秀賞に輝いた「MIXジュース」は京都営業所で端数(ケース)出荷を取り扱っている部門のサークルで、ピッキング作業の生産性向上に継続して挑戦。特定曜日で生産性が低下する要因を分析し、過剰作業を防止する事前ピッキング作業基準のルール化やピッキング方法の見直し、作業場の拡大などにより生産性向上とコスト削減を実現した。

優良賞は赤穂営業所の「ひよこ物流」。事務所の業務の役割分担を見直し、一人の人しかできない38の日次業務をゼロにし、休みの日にも他の人が対応したり、現場でもリモートワークができるようにした。努力賞は名古屋営業所の「金シャヤ団」で積載重量と輸送距離を加味したトンキロ法を使って燃費の向上に取り組んだ。

Twitterで「物流」に関する情報を発信中!!

アカウントはcargoNEWS社。